

【現行】文京区都市マスタープラン（平成23（2011）年3月改定）

- 1 まちを取り巻く背景
- 2 魅力にあふれるまちをめざして
- 3 まちづくりの目標と将来構造

4 部門別の方針

- |                |                |              |
|----------------|----------------|--------------|
| ①土地利用方針        | ②道路・交通ネットワーク方針 | ③緑と水のまちづくり方針 |
| ④住宅・住環境形成の方針   | ⑤景観形成の方針       | ⑥防災まちづくり方針   |
| ⑦魅力を生かすまちづくり方針 |                |              |

5 地域別の方針

- |          |          |          |
|----------|----------|----------|
| ①都心地域    | ②下町隣接地域  |          |
| ③山の手地域東部 | ④山の手地域中央 | ⑤山の手地域西部 |

6 実現化に向けて

まちの魅力と課題の整理

資料2：まちづくりの成果と課題、他

まちの現況分析

区民等の意識調査

庁内各課ヒアリング

見直しの方向性

(1)見直しのスタンス ～現行都市マスを引き継いでの見直し～

○基本的な方向性は、現行プランを引き継ぐものとし、目次構成の大枠は継承していくが、社会動向等を踏まえ、必要に応じて部門や項目の追加、現行プランの修正を行う。

○基本的には都市計画の枠組み内の都市マスとし、都市計画に関する事項はある程度具体的な方向性を示していく。ただし、文京区の都市づくりを進めていく上で重要な取組については、都市計画の枠に留まることなく幅広いまちづくりの視点から方向性を示していく。

○地域別方針については、現行プランの5つの地域を継承し、現況や地域でのまちづくりの状況を整理したうえで、必要に応じて、方向性を見直し・追加を行う。

地域別方針については第4回以降検討協議会にて

(2)見直しの視点

資料3：新たな視点からみる部門別方針の整理

① 追加・強化する視点

環境・エネルギーに関する項目等の追加や、地域強靱化へ向けた防災まちづくりの強化など社会情勢や現行プランの課題をもとに見直しを行う。

② 横断的整理

社会動向等を踏まえた新たな視点から横断的整理を行い、各部門の複層関係を整理し、部門間連携を図っていく。

各回検討協議会にて

(3)魅力あるまちづくりの推進

～「魅力を生かすまちづくり方針」の見直し～

第3回検討協議会にて

○「魅力を生かすまちづくり方針」を各部門の統合的なまちづくり推進に向けたプランとして見直しを行う。

○魅力の構成要素を切り口に部門別の各方針間の複層関係を整理し、具体的なまちづくりの推進のためのプランを打ち出す。

(4)推進方策

第4回以降検討協議会にて

進捗管理

- |        |             |         |
|--------|-------------|---------|
| ○成果の検証 | ○取組状況と課題の共有 | ○評価と見直し |
|--------|-------------|---------|

現行プランに追加すべき新たな視点

① 部門別まちづくり方針の整理と横断的視点による各部門間の連携

- 近年の社会動向を踏まえ、現行部門に盛り込まれていない取組などを加味した部門別方針の整理が必要である。
- 複層化する都市の現状を踏まえると、横断的視点による部門間の関係性を整理し、各部門で連携を図りながらまちづくりを推進していくことが求められる。

② 文京区の魅力を生かしたまちづくり

- 「魅力を生かすまちづくり方針」は、文京区の魅力の構成要素を切り口に各部門別方針を組み合わせた方針となっているため、これら魅力の構成要素を強みに各部門の連携を図っていける整理ができるとよい。

③ 多様な主体と連携によるまちづくりの推進

- 持続的なまちづくりに向け、エリアマネジメントなど、多様な主体によるまちづくりの推進を検討していく必要がある。

④ 進捗管理・成果の検証

- 進捗や成果を把握しやすくするため、評価方法について検討が必要である。

都市整備を取り巻く動向

【第1回協議会】資料4より

- ① 人口減少社会・人生100年時代を見据えたまちづくり
- ② 首都直下地震や気候変動に備えた地域強靱化
- ③ 2050年カーボンニュートラルに向けた脱炭素化の強化
- ④ 新型コロナ危機を踏まえたまちづくり
- ⑤ Society5.0の実現に向けたデジタル技術の活用
- ⑥ 社会資本の老朽化への対応と有効活用
- ⑦ 地域との連携